

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001849
事業所名	グループホームやすらぎの里 中野新町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームの近くにある開業医の駐車場を舞台として、様々な催しが行われている。月に数回開かれる「二の市」に出かけ、並んだ花や野菜等を見て歩くのを楽しみにしている利用者が多い。子供会の秋祭りもその駐車場が会場となっており、利用者は子どもの獅子舞いがホームに練ってくるのを楽しみにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年間6回の運営推進会議が、利用者、家族、町内会長、地域代表（ホームの敷地のオーナー）、民生委員、地域包括支援センター職員をメンバーとして開かれている。運営推進会議の参加者が限定され、マンネリ化していることを管理者は憂慮しており、次年度に向けての目標達成計画に、「マンネリ化の打破」を掲げた。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	介護保険に関する各種の届出等を区に提出しており、その際に保護係にも立ち寄って、生活保護受給者の情報を伝えている。生活保護受給者が2名入居しており、区の保護係の職員が定期的にホームを訪問し、利用者の状況を確認している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のホームへの来訪は個人差があり、毎週訪問する家族がいる反面、盆・暮れ程度の家族もいる。その際には、職員は積極的に声掛けしてコミュニケーションを図り、家族から意見や要望を聞き取っている。運営推進会議への家族参加が少ないことから、管理者は抜本的な解決策の必要性を感じている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	○	○	○	○	○	◎		